

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	健康の科学（Science of Health）		
ナンバリングコード	B10402	大分類／難易度 科目分野	教養基礎(教育)科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年／開講期	1 年 / 前期
必修・選択区分	選択		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A010802	クラス名	前期
担当教員名	武田 正芳、堀 仁史、赤尾 将吾		
履修上の注意、 履修条件	教職課程履修者は、健康の科学2単位は必修です。 出席は毎時間取ります。遅刻をしないようしてください。 レポートの提出を求めます。 座席指定をします、決められた席に着席してください。		
教科書	各講義で資料を配付します。各自ファイルに保管し毎週持参してください。		
参考文献及び指定図書	特になし。		
関連科目	スポーツサイエンス、生涯スポーツ指導、NSCA認定校カリキュラム科目		

○基本情報		
授業の目的	健康の科学とは、人間のより良い生存のため健康の維持増進、疾病の予防、身体適応機能の向上・体力の向上および維持を目指すものです。健康と身体機能との関連性を追求し、健康・体力を自主的に管理するための理論及び実践方法の習得を目的とします。	
授業の概要	第1回目はオリエンテーション行います。クラス分けをし、健康と運動、身体組成と肥満、栄養・休養と応急手当をオムニバス形式で講義します。第16回目は期末試験を行います。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	社会人としての自己管理能力を身に付けるために健康状態の把握と、より良い生活の仕方を学んでいる。	10%		20%
【ディプロマ・ポリシー②】	健康・体力を自主的に管理するための実践方法が習得できている。	15%		20%
【ディプロマ・ポリシー③】	健康・体力面から生活全般を振り返り、より良い生活習慣を考えることができる。	15%	5%	15%

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	健康の科学（Science of Health）	授業コード	A010802
	担当教員	武田 正芳、堀 仁史、赤尾 将吾		
学修内容				
1. フレッシュマン・スタートアップ				
予習	シラバスを熟読し、健康について自分なりの見解をまとめる。			約2時間
復習				約2時間
2. オリエンテーション				
シラバスに沿って講義全体の組み立てや大学講義の受け方について再度説明します。クラス分けを決定します。クラスによって各週のシラバスの順番が変わることを説明します。				
予習	健康の定義、健康づくりについて調べておく。			約2時間
復習	健康について自分なりの見解を再度まとめる。			約2時間
3. 健康				
少子高齢化の現代社会における「健康」を取り巻く環境について、メタボリックシンドローム、ロコモティヴシンドローム、生活習慣病、健康寿命の延伸について学習し、生涯を通した運動および身体活動の必要性について学習します。また「健康の定義」や「体力構成要素」について理解するとともに、運動にとって重要な「トレーニングの原理・原則」を学習します。				
予習	柔軟性トレーニングについて調べておく。			約2時間
復習	講義内容について現在の生活に照らし合わせまとめる。			約2時間
4. 柔軟性トレーニング				
柔軟性トレーニングの基礎知識として、運動の強度・頻度・時間について学習するとともに、その運動効果について理解を深めます。また柔軟性トレーニングの正しい動作テクニックや運動強度について実際の身体活動を通して学習します。				
予習	筋カトレーニングについて調べておく。			約2時間
復習	柔軟性トレーニングについて現在の生活に照らし合わせまとめる。			約2時間
5. 筋カトレーニング				
筋カトレーニングの基礎知識として、運動の強度・頻度・時間について学習するとともに、その運動効果について理解を深めます。また筋カトレーニングの正しい動作テクニックや運動強度について実際の身体活動を通して学習します。				
予習	有酸素性トレーニングについて調べておく。			約2時間
復習	筋カトレーニングについて現在の生活に照らし合わせまとめる。			約2時間
6. 有酸素性トレーニング				
有酸素性トレーニングの基礎知識として、運動の強度・頻度・時間について学習するとともに、その運動効果について理解を深めます。また有酸素性トレーニングの正しい動作テクニックや運動強度について実際の身体活動を通して学習します。				
予習	健康について理解を深めておく。			約2時間
復習	有酸素性トレーニングについて現在の生活に照らし合わせまとめる。			約2時間
7. 健康とスポーツ				
健康の定義や生活習慣病についてスポーツを通じて学習します。また、日本だけに留まらず国際的な目線でスポーツを学び、スポーツのもたらす可能性について考えます。				
予習	LGBTQ+とは何か調べておく。			約2時間
復習	健康とスポーツの関係性について振り返る。			約2時間
8. スポーツと多様性				
LGBTQ+といった多様性について学び、スポーツ界や社会における多様性の問題や事例などを元に理解を深めます。				
予習	障害者スポーツにはどんなものがあるか調べる。			約2時間
復習	多様性について学んだことをまとめる。			約2時間

○授業計画	科 目 名	健康の科学（Science of Health）	授業コード	A010802
	担当教員	武田 正芳、堀 仁史、赤尾 将吾		
学修内容				
9. 障害者とスポーツ				
パラリンピックなどを元に傷害について学び深める。障害者スポーツの世界を動画を通じて見て、触れて、楽しむ。健常者と障害者が楽しくスポーツをする方法を意見を出し合い考える。				
予習	フレイルやサルコペニアについて調べておく。			約2時間
復習	健常者と障害者が楽しくスポーツをする方法を考える。			約2時間
10. 高齢者とスポーツ				
高齢者のフレイルやサルコペニアについて考え、健康寿命を延伸に必要な運動やスポーツ、栄養摂取について学びます。高齢者になってもスポーツや運動を楽しむために今からできることを意見を出し合い考える。				
予習	食生活と休養について自分の生活を把握しておく。			約2時間
復習	高齢者になってもスポーツや運動を楽しむために今からできることを考える。			約2時間
11. 食事と休養				
5大栄養素の種類とその働きを簡単に理解すると共に、その栄養素が含まれる主な食物を学習します。また、質の良い休養や睡眠について学習します。				
予習	食生活と休養について自分の生活を把握しておく。			約2時間
復習	高齢者になってもスポーツや運動を楽しむために今からできることを考える。			約2時間
12. 体格・身体組成測定				
身体組成の測定法やその評価について学習します。実際に体脂肪率等を計算し自らのデータから現状を把握します。				
予習	嗜好品や薬物・ゲーム依存について調べておく。			約2時間
復習	データを振り返り身体組成の現状と傾向から自己評価をする。			約2時間
13. 飲酒・喫煙・薬物と健康被害				
飲酒・喫煙・薬物・ゲーム依存について学習します。飲酒については、アルコールの分解・吸収について学習し、講義中にアルコールパッチテストを行い各自の体質を把握します。また、喫煙の害や薬物依存、ゲーム依存について学習びます。				
予習	心肺蘇生法や熱中症について調べておく。			約2時間
復習	飲酒事故や喫煙、薬物の害、ゲーム依存について理解を深める。			約2時間
14. 応急処置・熱中症				
応急処置の基本的な事柄について説明します。特に心肺蘇生法の基礎的知識やAEDについて学習します。また、熱中症の病型や発生原因を理解し、予防や応急処置について学習します。				
予習	講義全体を振り返り疑問点をまとめる			約2時間
復習	講義内容を振り返り予防や応急処置ができるようにまとめる。			約2時間
15. 講義総括				
各講義の振り返りを行い、講義内容のつながりを確認し、疑問点などを解決して講義内容についてより深く理解します。				
予習	テキストや資料を振り返り、講義内容をより深かめておく。			約2時間
復習	講義を振り返り、自らの健康生活に活かすためのポイントをまとめる。			約2時間
16. 期末試験				
予習				
復習				